

## 令和3年度長野市役所温室効果ガス排出量

種類別	R3 CO <sub>2</sub> 排出量(t)	R2 CO <sub>2</sub> 排出量(t)	前年度比(t) " (%)	R3 割合(%)
エネルギー起源	47,923	48,859	△936 (△1.9%)	96%
非エネルギー起源	1,833	1,892	△59 (△3.1%)	4%
合計	49,756	50,751	△995 (△2.0%)	100%

※エネルギー起源：燃料（電気、ガス、灯油等）の燃焼で発生・排出される二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）

非エネルギー起源：燃料の燃焼以外の要因（下水の処理等）で発生・排出されるCO<sub>2</sub>

## 【参考】 温室効果ガス排出量の減少理由

新型コロナウイルス感染症の感染対策により、エネルギーの使用量は増加したが、再生可能エネルギーの活用及び電力会社から供給された電力1kWhあたりのCO<sub>2</sub>排出量が減少したため。

CO<sub>2</sub> 排出量 比較 △ 995 t-CO<sub>2</sub>  
△ 2.0 %

## ①ごみ発電電力の学校施設への導入による効果

※\*は推計値

	電力使用量 (kWh)	日立造船		中部電力+その他		バイオマス電力による削減量	
		CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)	CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)	CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)
令和2年	10,238,127	1,402.62	212,118,592	*4,136.29	*242,633,387	<b>△2,733.7</b>	<b>△30,514,795</b>
令和3年	11,107,969	911.00	265,466,709	*4,447.00	*299,772,863	<b>△3,536.0</b>	<b>△34,306,154</b>

・電気料金：年間約3,400万円の削減 ・CO2排出量の削減：年間約3,500tの削減（R3年度）

## ②木質バイオマス発電電力の第二庁舎への導入による効果

※\*は推計値

	電力使用量 (kWh)	お山の発電所		中部電力		バイオマス電力による削減量	
		CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)	CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)	CO2排出量 (t-CO2)	料金(円)
令和2年	974,245	25.33	19,525,773	*419.90	*21,033,004	<b>△394.6</b>	<b>△1,507,231</b>
令和3年	973,875	26.29	21,978,219	*395.39	*23,484,594	<b>△369.1</b>	<b>△1,506,375</b>

・電気料金：年間約150万円の削減 ・CO2排出量の削減：年間約370tの削減（R3年度）

省エネ対策により、一部施設では電力使用量は減少しているが、換気を行いながら空調設備等を使用するなど、新型コロナウイルス感染症の対策を継続したことにより、全体として増加傾向にある。しかし、バイオマス発電電力を導入していることで、CO2排出量、電気料金は抑えられている。

※R3排出係数(kg-CO2/kWh)

日立造船 : 0.082

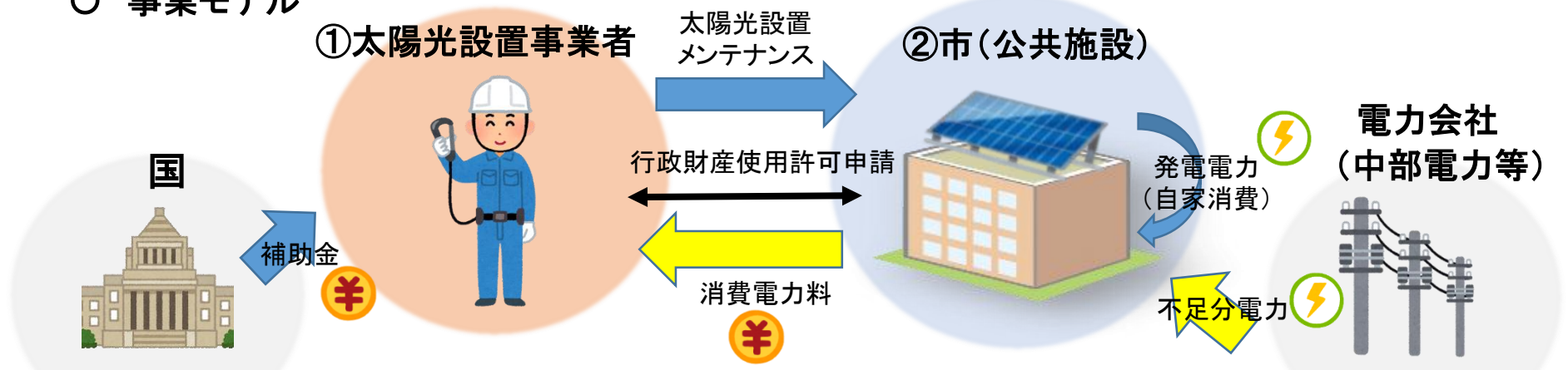
お山の発電所 : 0.027

中部電力 : 0.406

# 市有施設への太陽光発電設備等設置及び電気供給事業(PPA\*事業) 3

\* PPA事業: Power Purchase Agreement(電力販売契約)

## ○ 事業モデル



	①太陽光設置事業者	②市(公共施設)
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者が公共施設の屋根等に無償で太陽光発電を設置し、契約期間中(概ね20年間)、保守・メンテナンスも無償で行う。</li> <li>・設置した太陽光発電設備による電力を、公共施設に有償(20年間固定)で供給</li> <li>・設備設置費用として、国から事業者への補助あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は、太陽光発電により発電された電力を当該施設で消費し、その電気料金を事業者へ支払う。</li> <li>・夜間や天候不順時などの不足する電力は電力会社から購入</li> </ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定価格買取制度による売電(11円/kWh※1)よりも、高い価格で売電できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期・運営コストゼロでCO2削減</li> <li>・電気料金の削減・安定化(燃料調整費、再エネ付加金不要。補助金の効果。デマンド値※2の低下効果)</li> <li>・災害等、停電時の非常用電源の確保: 当該事業モデルで蓄電池の導入も可能</li> </ul>

※1 2022年度10kW以上50kW未満の場合

※2 デマンド値: 30分間における平均使用電力、1年間の中の最大デマンド値により基本料金を左右する契約電力が決まる。

令和4年度は1施設で実施中。今後は、個別施設計画と整合を図りながら毎年度実施していく。

# 環境にやさしい取組チェックリスト「C3リスト120」を活用しよう



## 不要な照明の消灯

- 昼休みや就業後の不要な照明は、速やかに消灯する。
- トイレから出るときは、消灯する。(家でもやってるでしょ^o^)
- 蛍光管や電球を可能な限り間引く。

☆関連する取組

### 555運動

\*午後5時55分に庁内放送を流し、消灯を促す。

一年で約480万円削減の効果！

みんなで実行すれば  
年間で約**500**万円節約できるニヤ！

## 階段利用の促進

- 階段を使用し、エレベーター利用を減らす。  
(体脂肪も減らしてしまえ^o^)

3階程度の上り下りは基本的に階段を利用しよう。

☆関連する取組

### 木曜日の階段利用

\*毎週木曜日は積極的に階段を利用するように呼び掛け、健康の増進にも繋げる。



## パソコンの節電に配慮した使用

- 長時間自席を離れる時、パソコンはシャットダウンする。
- 使用していない電気製品は、極力、コンセントを抜く。
- パソコンには、個別スイッチ付タップを利用し、待機電力をカットする。

→退庁するときにレイアウト上可能な範囲でACアダプターの電源を抜くのも効果あり。

一年で約16万3千円削減の効果！

## 空調の適正な利用

- 不要なエアコンの使用を控える。  
(室温は、冷房28℃、暖房19℃が目安)
- ブラインドやカーテンを活用し、空調効果を高める。
- クールビズ、ウォームビズを推奨する。  
(体調にも合わせて自分で調節)
- 猛暑や厳しい寒さに耐える体力をつける。  
(これも大事なことだね。)

本庁におけるエアコンの効きすぎや、風向き調節については、総務課までご相談ください。

